

組織としての対応力強化のための取組み

組織としての対応力を強化し、事業運営を磐石なものとするため、次のとおり組織の見直しを進めてまいります。

1. 保全機能の抜本的な強化

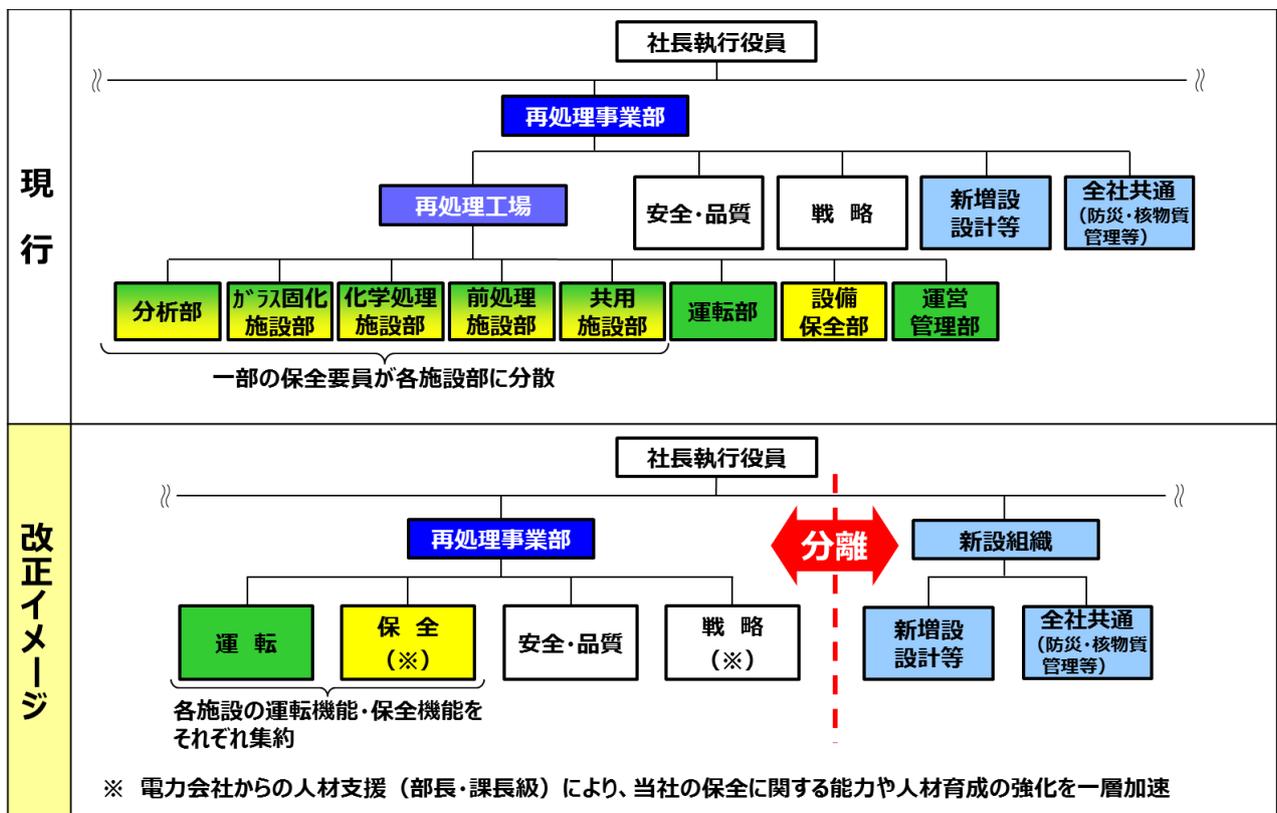
① 再処理事業部の組織改正

課題	<ul style="list-style-type: none"> 一部の保全要員が再処理工場の各施設部に分散（体系的な教育訓練が不足し、保全の考え方が一貫していない） 再処理事業部長が再処理工場の運転・保全活動の統括に十分注力することが難しい
対策	<ul style="list-style-type: none"> 各施設部の保全要員を集約して保全専門の組織を新設（保全機能の抜本的な強化） 再処理事業部の全社共通部門および新增設設計等の部門を分離（再処理事業部長が運転・保全活動の統括に十分注力） <p>⇒将来の安全・安定な操業運転を実現</p>

② 電力会社からの人材支援

上記の組織改正に加え、保全に関する能力や人材育成の強化を一層加速させるため、電力会社から保全活動等に関する知見・経験に長けた人材（部長・課長級13名）の支援を受け、保全に関する知見・経験および考え抜く力・課題解決力・管理能力等を強化

（参考：再処理事業部の組織改正イメージ）



2. 関係機関と一層の連携強化（青森総合本部の組織改正）

今後の再処理工場およびMOX燃料工場のしゅん工に向けて、関係機関との一層の連携ならびに地域の皆さまへの理解活動を強化するため、本社と青森総合本部の新たな体制を構築